



第3回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

今回の学習会は平成30年9月1日に18名の川レンジャーが釧路湿原とまた異なる近隣の湿原を学ぶため霧多布湿原センターに伺いました。午前中は館内説明と座学、午後からはセンター内の湿原を散策しました。

センターの帰りに「コープはまなか」に立ち寄り、タカナシ乳業の「北海道4.0牛乳」を試飲してきました。

初の開催となる霧多布湿原の学習会は、座学、散策をとおして大変有意義な学習会となりました。



■ 館内説明

霧多布湿原センター到着後屋外デッキに移動し、霧多布湿原と嶮暮帰島(けんぼつきとう)や太平洋の景色に魅了されました。スタッフからは、霧多布湿原(3,168ha)が、国内5番目の面積を誇り、釧路湿原同様ラムサール条約の登録湿地であることや湿原の成り立ちなどの説明をしていただきました。

また、館内では霧多布湿原の歴史、湿原の重要性、生息する動植物などたくさんの情報を知ることができます。昔使われていた昆布漁の道具や湿原の地層展示を用いて解説していただき、皆さん熱心に聞いていました。



霧多布湿原を眺めながら
解説に聞き入るみなさん



触れる展示・
45種類のバードカービング



巨大地震による
津波の痕跡が残る地層展示



湿原の仕組みを
わかりやすく伝える展示

■ 座学：霧多布湿原の環境とトラストの取り組み

午前中は、霧多布湿原センタースタッフから「霧多布湿原の環境とトラストの取り組み」についてスライドを使った講義があり、霧多布湿原の成り立ちや豊かな自然環境、釧路湿原との違い、トラストの湿原保全の取り組みなどについて詳しくお話をいただきました。

川レンジャーの皆さんからは釧路湿原との違いを踏まえた質問が出るなど、湿原保全に対する日頃の関心の高さがうかがえました。



スライドを使った座学のような様子

■ 散策：ショートリバーコースでの観察と体験

午後は、森と湿原を一度に観察できるコンパクトなコースを3班に分かれて散策してきました。霧多布湿原センターの方に案内していただき、一般の人が普段立ち入れない場所で、植生や動物の生態、湿原の状態など貴重な体験ができました。泥炭のぬかるみに長靴で入ったり、小川の橋を渡ったり、子ども時代に戻って楽しみました。



そろりそろりと渡る小さな橋



川底のカワシジュガイ探し



マツヤニに火をつける特別な実験



落ちていたエゾシカの骨を使った解説&観察



クマゲラの
バードカービング



樹木の標本



かつての潜水道具

館内は無料でどなたでも見るすることができます！

♪ ちょっとおいしい寄り道inコースはまなか ♪



牛乳のあとは、ソフトクリームを買って食べています！



ハーゲンダッツの使用された牛乳の試飲が大好評！

Eボートによる旧川復元川下り見学会に参加しました！



解説を聞きながら川下り



旧川復元事業の説明のようす



記念撮影

平成30年9月21日(金)「Eボートによる旧川復元現地見学会」に釧路湿原川レンジャーが参加しました。釧路湿原への様々な影響から、平成22年度に過去に直線化された釧路川を可能な限りかつての蛇行した河川形状へ復元する「旧川復元」が実施されました。今回は標茶町五十石橋下流から茅沼旧川復元箇所までの約6km(約1時間半)をEボートに乗船し、旧川復元区間や直線河道の埋戻し箇所の植生を見学しました。秋晴れのなか、静かな釧路川を堪能することができました。

